

氏名 Name	出版 Publications
Ada Taggar-Cohen	<p>“Biblical Wisdom Literature and Hittite Didactic texts in the Ancient Near Eastern Literary Context” JISMOR 14 (4/2019), 45-64. [Japanese -アダ・タガー・コヘン、古代近東文学における聖書の知恵文学とヒッタイトの教訓文書『一神教学際研究 (JISMOR)』第 14 (4/2019), 43-62.]</p>
	<p>“The Religious Restrictions in the Bible and Hittite Cultures: On Holiness in both Cultures”, in: Judaism in Modern Era: Interpretative Studies of Ancient and Current Texts - Proceedings of the Third International Symposium on Jewish Studies; Held at the Hebrew University of Jerusalem, August 19th 2018 (Ed. Ada Taggar Cohen; Kyoto: Doshisha University, The Center for Interdisciplinary Study of the Monotheistic Religions=CISMOR, 2019), 27-37.</p>
	<p>“Ritual as Divine Law: The Case of Hittite Royal Cultic Performance and its Biblical Correspondence,” Orient 55 (2020), 23-37.</p>
小原克博	<p>小原克博「キリスト教と日本社会の間の葛藤と共鳴——宗教的マイノリティが担う平和主義」、堀江宗正編『宗教と社会の戦後史』東京大学出版会、2019年4月、209-236頁</p>
	<p>山極寿一・小原克博『人類の起源、宗教の誕生——ホモ・サピエンスの「信じる心」が生まれたとき』平凡社新書、2019年5月</p>
	<p>小原克博「宗教が平和に貢献するための課題——良心学と統合的平和の視点から」、『東洋学術研究』第58巻第2号、2019年11月、106-122頁</p>
	<p>小原克博「多文化共生社会としての日本における宗教間教育の必要性」、楠淳澄、中西直樹、嵩満也『国際社会と日本仏教』丸善出版、2020年1月、227-232頁</p>
三宅 威仁	<p>三宅威仁「神義論の諸相—神と悪、または世界の不完全性の問題—」、『基督教研究』(第81巻第2号)、同志社大学神学部基督教研究会、2019年12月、1~20ページ</p>
大澤 香	<p>大澤香、「神の所有としての生—ルカ福音書20章27-40節についての考察—」、『青野太潮先生献呈論文集 イエスから初期キリスト教へ—新約思想とその展開』(日本新約学会編)、2019年9月、173-187頁。</p>
塩尻 和子	<p>塩尻和子「イスラームフォビアに立ち向かう」所収『日本のイスラームとクルアーン』(水谷周、大川玲子、四戸潤弥、林純子) 晃洋書房、2020年3月出版</p>
	<p>塩尻和子編著、共著:上山一、田中友紀 『リビアを知るための60章』明石書店、2020年3月出版</p>
嶋本隆光	<p>研究ノート、『十二支考』「犬に関する民俗と伝説」に見える南方熊楠の学的方法—イスラームの視点から「地球志向の比較学」の問題点をめぐって— 『熊楠研究』第13号、南方熊楠研究会編、pp.210-224、2019年、3月31日</p>
下村 佳州紀	<p>名古屋外国語大学言語教育開発センター編、松山洋平、下村佳州紀執筆 『アラビア語はじめての1000語』名古屋外国語大学出版会、2019.9、127pp.</p>
中田考	<p>中田考「どうなるエルドアン政権」『宗教問題』Vol.27、2019年8月80-83頁</p>
	<p>中田考「宗教地政学事始」『情況』2019年秋号10月120-127頁</p>
	<p>中田考『イスラーム学』作品社2020年1月581頁</p>

廣瀬 陽子	廣瀬陽子「ロシアによるハイブリッド攻撃の脅威」『治安フォーラム』2019年4月号(25巻4号)、34-42頁。
	廣瀬陽子「中国「一帯一路」の影響:キルギスの事例から」国際情勢研究所紀要『国際情勢』第90号、2020年3月、101-113頁。
	廣瀬陽子「プーチンのグランド・ストラテジーと「狭間の政治学」—ロシアと地政学」北岡伸一・細谷雄一編『新しい地政学』東洋経済新報社、2020年、256-306頁／総頁数: 424。
石黒 安里	【研究ノート】(査読有り)石黒 安里「米国改革派ユダヤ教における多様なシオニズム解釈を探る —史料と現状からの報告—」『一神教学際研究』15、一神教学際研究センター、2020年3月、64-78頁。(英語訳:“Exploring Different Interpretations of Zionism within American Reform Judaism: Report on Historical Documents and Current Situation,” in <i>JISMOR</i> , pp. 63-76.)
山本 孟	山本 孟『ハットゥッシリ 3 世の弁明』における「愛」—「愛」を意味するヒッタイト語の表現について—、『一神教世界』11、pp.1-15、2020年3月。
	山本 孟「ヒッタイト王国時代の象形文字碑についてのトルコ現地調査」『一神教学際研究』15、pp.51-61、2020年3月。
永田 正樹	Masaki Nagata, “The Radical Nation-State and Contemporary Extremism”, <i>Middle East Law and Governance</i> , Vol. 11, No. 3 (2019):319-345 doi.org/10.1163/18763375-01103002 発行所:オランダ 出版社: Brill
藤原 佐和子	Sawako Fujiwara, “Has the New Era of Reconciliation Come? (2 Cor. 5:16-20),” <i>The Bible Study for the Congress of Asian Theologians (CATS)-9</i> , Christian Conference of Asia, August 2019, pp. 18-23 .
	Sawako Fujiwara, “Are We Disposable?: A Reflection as a Japanese Christian Women,” <i>In God’s Image, Asian Women’s Resource Centre for Culture and Theology, Volume 37, Number 2, December 2019, pp. 23-29.</i>
加藤 哲平	Tepei Kato, “Ancient Chronography on Abraham’s Departure from Haran: Qumran, Josephus, Rabbinic Literature, and Jerome” <i>Journal for the Study of Judaism</i> Vol. 50, May, 2019, pp. 178-96.
	加藤哲平、「老祭司、七人の少年、老母:『第四マカベア書』の殉教物語における哲学的しかけ」、『日本の神学』、第58号、2019年9月、30-56頁。
	Tepei Kato, “Hebrews, Apostles, and Christ: Three Authorities of Jerome’s <i>Hebraica Veritas</i> ,” <i>Vigiliae Christianae</i> Vol. 73, September, 2019, pp. 420-39.
	Tepei Kato, “¿Griego o hebreo? Agustín y Jerónimo sobre la traducción bíblica,” <i>Avqvstinvs: Revista Publicada por los Agustinos Recoletos</i> Vol. 64, November, 2019, pp. 173-85.
大澤 耕史	大澤耕史「(書評)加藤哲平著『ヒエロニムスの聖書翻訳』」『ユダヤ・イスラエル研究』第33号／日本ユダヤ学会／2019年12月／75-76
	大澤耕史「死海文書」におけるアロン—擁護か批難か—『一神教学際研究』第15号／同志社大学一神教学際研究センター／2020年3月／37-52
西 直美	西直美(2020)「イスラーム的価値観をめぐる相違と「過激化」問題 —タイ深南部におけるサラフィー主義の受容に着目して—」『一神教世界』第11号/2020年3月/34-52

著書名・論文名および所収雑誌名／発行場所／発行年および月(論文については掲載頁)

著書: 著者(全員)、著書名、発行所名、出版社、発行年／総頁数

ジャーナル: 著者(全員)、論文名、雑誌名、号、発行年および月、掲載頁

List of Publications

For book – Authors (all), title, place, publisher, year, No. pp. //

For journal – Authors(all), title, Journal, Vol. Month, Year, No. pp.

2019年度 CISMOR RF 研究業績 一出版